

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 商業 科目 生活と法

教科： 商業 科目： 生活と法 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1組～ 5組

教科担当者： （ 1組： 本田 ）（ 2組： 舟屋 ）（ 3組： 石関 ）（ 4組： 本田 ）（ 5組： 本田 ）

使用教科書： （ なし（学校設定科目のため自校作成教材） ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 生活と法 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
法の存在が安定的生活に寄与していることを認識し、生活に必要な法規に関する基礎的・基本的知識を体系的・系統的に理解する。	社会生活を営んでいく中で、様々な出来事を法的に考え、判断し、法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	法の知識、法的思考が生活上必須のことであることに気づき、様々な法規に関する学習に対し主体的・協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
				数	時	数	数
1 学 期	法の概要 法の役割 法の体系と解釈・適用 【知識・技能】法の役割と法の体系について理解している。 憲法・民法の歴史と概要について理解する。 【思考・判断・表現】法の役割と法の体系について、社会生活の出来事と関連付けて見出す。 【主体的に学習に取り組む態度】法の役割と法の体系について自ら学び、具体的な社会活動と結び付けて、主体的かつ協働的に取り組む。	<法とは> ・法の役割 ・法の意義と体系 ・最高法規としての憲法の歴史と日本国憲法 ・民法の全体像	【知識・技能】法の役割と法の体系について理解している。憲法・民法の歴史と概要について理解している。 【思考・判断・表現】法の役割と法の体系について、社会生活の出来事と関連付けて見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】法の役割と法の体系について自ら学び、具体的な社会活動と結び付けて、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○	○	○	5
	権利・義務と財産権 権利・義務とその主体 【知識・技能】権利・義務の意義、関係、そのあり方、その体系について理解する。 権利・義務の主体としての自然人と法人について理解している。 【思考・判断・表現】自然人の権利能力の始期と終期、その例外について具体的な例と関連付けて見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】権利能力・制限行為能力者制度について民法の関連条文をと関連付けて分析し、考察する学習活動に主体的かつ協働的に取り組む。	<民法 総則> ・権利と義務、その主体 ・自然人の権利能力、意思能力、行為能力 ・制限行為能力者制度 ・法人	【知識・技能】権利・義務の意義、関係、そのあり方、その体系について理解している。 権利・義務の主体としての自然人と法人について理解している。 【思考・判断・表現】自然人の権利能力の始期と終期、その例外について具体的な例と関連付けて見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】権利能力・制限行為能力者制度について民法の関連条文をと関連付けて分析し、考察する学習活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	物と物権・債権 【知識・技能】物の概念と範囲、さらに物の分類と実益性について理解する。 【思考・判断・表現】物権への理解を踏まえて財産権に債権や知的財産権も存在することを具体的な例と関連付けて見出す。 【主体的に学習に取り組む態度】物権をはじめとする財産権について自ら学び、社会生活における活動と結び付ける学習活動に主体的かつ協働的に取り組む。	<民法 物権> ・物 ・物権とその他の財産権	【知識・技能】物の概念と範囲、さらに物の分類と実益性について理解している。 【思考・判断・表現】物権への理解を踏まえて財産権に債権や知的財産権も存在することを具体的な例と関連付けて見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】物権をはじめとする財産権について自ら学び、社会生活における活動と結び付ける学習活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○	○	○	3
	物と物権・債権 【知識・技能】物権の種類を体系的に理解するとともに物権法定主義の意義と趣旨を理解している。所有権、用益物権、占有権について理解する。 【思考・判断・表現】物権法定主義の意義と趣旨について具体例をあげ、説明するとともに、所有権も制限を受けることについて社会生活と関連付けて見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】十の物権のうち所有権と用益物権、占有権について自ら学び、民法の条文を当たりながら、主体的かつ協働的に取り組む。	・物権の種類 ・所有権と相隣関係、所有権の制限 ・用益物権 ・占有権	【知識・技能】物権の種類を体系的に理解するとともに物権法定主義の意義と趣旨を理解している。所有権、用益物権、占有権について理解している。 【思考・判断・表現】物権法定主義の意義と趣旨について具体例をあげ、説明するとともに、所有権も制限を受けることについて社会生活と関連付けて見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】十の物権のうち所有権と用益物権、占有権について自ら学び、民法の条文を当たりながら、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○	○	○	7
財産権の変動 契約 【知識・技能】財産権の移動は、契約によることを社会生活における事例と関連付けて理解し、その効力や意思表示についても理解する。 【思考・判断・表現】契約の効力や意思表示に関する課題について、社会生活における事例と関連付けて見出す。 【主体的に学習に取り組む態度】社会生活における契約における課題について、具体的な事例を用いて、自ら学び、法規に基づいた姿勢で主体的かつ協働的に取り組む。	<民法 債権> ・取引と契約、契約の一般原則 ・契約と意思表示 ・契約の種類	【知識・技能】財産権の移動は、契約によることを社会生活における事例と関連付けて理解し、その効力や意思表示についても理解している。 【思考・判断・表現】契約の効力や意思表示に関する課題について、社会生活における事例と関連付けて見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】社会生活における契約における課題について、具体的な事例を用いて、自ら学び、法規に基づいた姿勢で主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	7	
定期考査			○	○		1	
2 学 期	物の売買 【知識・技能】社会生活における契約について理解している。また物の売買についての事例と関連付けて見出す。 【思考・判断・表現】契約全般、また物や債権の売買についての課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】売買契約など社会生活における契約について、具体的な事例を用いて、自ら学び、法規に基づく適切な行動に主体的かつ協働的に取り組む。	・売買契約 ・不動産・動産の売買 ・債権の売買 ・売買契約の保証	【知識・技能】社会生活における契約について理解している。また物の売買についての事例と関連付けて見出し出している。 【思考・判断・表現】契約全般、また物や債権の売買についての課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考察し、評価・改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】売買契約など社会生活における契約について、具体的な事例を用いて、自ら学び、法規に基づく適切な行動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	物の貸借 【知識・技能】消費貸借、不動産の貸借について理解している。 【思考・判断・表現】消費貸借、貸借、不動産の貸借についての課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】社会生活における貸借契約、不動産の貸借について、具体的な事例を用いて、自ら学び、法規に基づく適切な行動に主体的かつ協働的に取り組む。	・貸借契約 ・消費貸借、貸借 ・不動産の貸借 ・使用貸借	【知識・技能】消費貸借、不動産の貸借について理解している。 【思考・判断・表現】消費貸借、貸借、不動産の貸借についての課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考察し、評価・改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】社会生活における貸借契約、不動産の貸借について、具体的な事例を用いて、自ら学び、法規に基づく適切な行動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	物の貸借 不法行為 【知識・技能】物権の保護、債務不履行や履行の強制に対する債権者としての対応、債権者以外の者に対する債権の効力について理解する。 【思考・判断・表現】不法行為の課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】不法行為など、具体的な事例を用いて、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	・物権の保護 ・債権の保護 ・債権の担保、担保物権 ・不法行為	【知識・技能】物権の保護、債務不履行や履行の強制に対する債権者としての対応、債権者以外の者に対する債権の効力について理解している。 【思考・判断・表現】不法行為の課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考察し、評価・改善している。 【主体的に学習に取り組む態度】不法行為など、具体的な事例を用いて、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

